



清流会 会派視察報告

1. 調査月日 平成18年2月6日(月)～8日(金)
2. 調査研究者 清流会(関口 福井 西谷 尾川)
3. 調査研究目的 農業観光事業、普天間基地の現状、保育所運営の民間委託等について
4. 調査研究先 沖縄県糸満市 宜野湾市 名護市

(1) 糸満市(観光農園事業)2月6日(月) 面接者 上原 和市氏(産業課) 観光農園事業の目的・展開方策について



ワイン館

100%地元産の果実を使用



施設の概要

所在地 糸満市字摩文仁
敷地面積 約28ヘクタール
総事業費 約40億円
(風力発電施設を除く)
整備期間 H11年度～15年度
開館 H17.4.23 (H15.11 ワイン販売及び一部施設の供用開始)

風力発電施設 出力600kw×3基=1,800kw
(施設の電力をまかなっている)*2基は故障中でした。

糸満観光農園(株)の概要

資本金 1億2千万円

出資団体 24団体

主な出資団体

- ・ 糸満市(出資額6,000万円)
- ・ 沖縄JA(出資額4,000万円)
- ・ その他(22団体 2,000万円)
漁協・商工会等

施設の管理・運営方法

糸満観光農園(株)第3セクターへの
施設の管理及び運営の委託



目的

産中心の農業経営から脱却し、新たな発想と想像力を基に加工、販売、展示、流通等の各過程を組み込み「農業の高次化」を図る。

見せる農業(農業生産活動や農産品、農業環境等)や体験等を通じた連携・交流の促進によって「農業と観光の複合化」を図ることで農業の多様性のある総合的な産業に転換する。

導入事業名

- 1．リーディング・プロジェクト（総務省）起債率90％から75％
- 2．経営構造対策事業（農林水産省）補助率3分の2（一般施設80％）
- 3．農村総合整備事業（農林水産省）補助率3分の2.5
- 4．その他関連事業（風力発電施設）
地域新エネルギー導入促進事業（経済産業省）補助率2分の1



（園内施設）

ワイン館、パークゴルフ、野外ステージ、特産品市場、レストラン *PAL* 熱帯果樹展示館などがありました。あいにく薬剤散布の日で展示館は見ることができませんでした。宮里藍さんの効果かパークゴルフに来る方が増えたそうです。親子で手軽に楽しめる場所です。

アセロラ（右写真）とパッションフルーツ（下写真）の栽培を見学。

健康志向が重視されるなかで「パッションフルーツアセロラの里」宣言を行いPRしています。

アセロラはビタミンCとミネラルが豊富に含まれ、健康や美容に良い果実として女性にも人気です。



アセロラの栽培



パッションフルーツの花

ひかりといのりとみどりのまち
 緑豊かな潤いに満ちた糸満市。
 人々の集う癒しと安らぎの楽園「
 糸満観光農園」がここに誕生しました。
 農業と観光という地域の持つ力を
 新しい発想と想像力で結びつけ
 糸満市の明るい未来への礎として
 糸満観光農園は力強く歩み出しました。
 (案内リーフレットより)



糸満市の総面積 4640ha の
 うち 3829ha が農業振興地域
 に指定され農用地区域が
 2049ha となっている。

現在は土地基盤や近代化施設
 の整備、担い手農家の育成・
 支援等に努めている。
 (糸満市の概要パンフより)

琉球新報に掲載された記事



ここではこんなイベントも開催しています。

「平和の光」いとまんピースフルイルミネーション

沖縄戦終焉の地、糸満市から「平和」への祈りを、60万個の「光」に託して世界へ発信するイベントです。毎晩20時からイルミネーションを一旦消灯し、一斉に再点灯する「スターライト・ウィンク」が行われ、大晦日には、特別な「ピースフル・ウィンク」により、平和への願いを新たにします。

毎年、西崎親水公園において実施されていたイベントが観光農園において実施されることになったそうです。

考 察

発想と想像力で、実現できる施策を研究し挑戦する姿勢が大切だということを感じる。本町も農業と観光をどのように発展させていけるか考えると、道の駅や日生駅前などにおいても特産品や農産物などを加工し試食や試飲によりPRして行くことも大切。おいしい水ときれいな空気、緑豊かな町 猪名川には四季おりおりの風景や旬がある。住民から「猪名川ブランド商品アイデア」を募集するなどして農業、商業などの活性化を図り、『目玉商品』の開発の取り組みも必要である。お盆や年末年始を休業とするのではなく、住人が集まる好機として活用することも必要ではないかと考える。

観光農園オープンまでの経緯（資料より）

- 平成 2 年 観光農園事業の可能性についての調査・検討を開始
- 平成 5 年 5 月 糸満市観光農園実施計画策定業務着手
- 平成 6 年 3 月 糸満市観光農園実施計画策定
 - 7 月 観光農園事業を本格的に推進するため、機構改革により観光農園推進室を設置
 - 糸満市観光農園事業推進協議会設置
 - 11 月 アセロラワイン試作品開発・研究に着手（沖縄工業試験場へ委託）
- 平成 7 年 1 月 アセロラ試験栽培開始（5 農家）
 - 10 月 糸満市観光農園基本計画策定
- 平成 9 年 4 月 ワイン試験製造免許の交付（那覇税務署）
 - 9 月 ワイン試験製造仕込み開始（JA 糸満市米須支所集出荷場）
- 平成 10 年 11 月 リーディング・プロジェクト事業選定（自治省）
- 平成 11～16 年度 用地取得及び敷地造成・施設整備等を実施
 - 平成 12 年 3 月 糸満観光農園株式会社設立総会
 - 4 月 農村総合整備事業実施採択
- 平成 12～14 年度 農業技術普及交流施設整備を実施
 - 平成 12 年 9 月 平成 12 年度「経営構造対策事業」指定
- 平成 12～16 年度 ワイン加工施設、果樹温室、地域食材供給施設等の整備を実施
 - 平成 13 年 8 月 ワイン原料生産組合設立総会(JA 本所)
 - 平成 15 年 4 月 糸満観光農園株式会社によるワイン製造免許取得
 - 11 月 糸満ワインの販売開始並びに一部施設の供用開始
 - 糸満市パッションフルーツ・アセロラの里宣言
- 平成 16 年 4 月 フルーツ加工施設・パークゴルフ場供用開始
 - 11 月 アセロラワイン県知事賞受賞表彰式
- 平成 17 年 4 月 糸満観光農園グランドオープン

(2) 宜野湾市（普天間米軍基地と周辺環境について）2月7日（火）
 面接者 ラリー・スチュワート中佐 大城 英和氏

ゲートの外まで在米海軍基地司令部の渉外官である大城氏が出迎えてくれました。
 副司令官のラリー・スチュワート氏と通訳の方がスクリーンを見て基地の概要説明をしてくれました。

基地の現状

規模：1188 エーカー 4.8 平方キロ

人口：3000 人勤務 331 名隊員（将校 20 名 下士官 311 名）

滑走路の長さ：9000 フィート 2,740m

航空機：74 基



基地の入り口【ゲート】



概要説明

歴史

那覇国際空港の6海里北東そして、嘉手納空軍基地から5海里のところにある海兵隊普天間基地は、ほとんどの航空機を支援できる機能を持ち備え、国連指定施設でもあり、また沖縄周辺を運航する空軍や海軍の航空機も利用しています。普天間は1945年、爆弾基地として開設された。

軍用飛行場は1960年に海兵隊航空施設として任命され、1976年に航空基地となった。

任務

普天間基地の任務は、施設の維持と運営そして役務や物資を提供して海兵航空団やその部隊の運営を支援すること。海軍作戦部長と連携して、海兵隊総司令官からの指名によりその他の活動や部隊に施設を提供して地上軍支援の為に艦隊海兵部隊航空機運営の支援を行う。また組織的航空機整備施設の提供、基地内の部隊に対しての作戦、兵站、管理支援を提供している。普天間基地はさらに、第三海兵遠征軍と在沖海兵隊バトラー基地の支援も行っている。

地域への関与

基地周辺は宜野湾市に囲まれている為、騒音やその他の環境汚染に対する環境要因の重要性が高まっている。民間地域に近接しているため、建ち並ぶ高層ビルの影響で安全な離発着経路が要求されることを認識している。地元農家の人々は、基地の一部を耕作に使用している。宜野湾市長や市役所職員等の地元指導者と問題や必要に応じてさらに緊急性のある問題について討論している。施設では、地元の人々が参加する年に1度のフレンドシップ・デーを主催している。「大きな輪」という機関紙も発行し交流を深めている。



基地敷地内を視察

バスにシュワート氏、通訳者、大城氏が同乗し基地内視察。

基地の中は、銀行やジム、スーパー、ボーリング場などもあり生活するための施設がそろっています。既婚者は家族と一緒に暮らすことはできないため家族は基地の外で別に暮らしています。任務期間としては既婚者では3年くらい、独身者は1年くらいだそうです。

基地の中は制限速度35キロで違反するとMPが飛んできます。信号のない交差点は先に停止したほうが優先だそうです。琉球バスの運転手さんは緊張気味でした。(私も緊張しました) 基地の中から外をみると、住宅がフェンスのすぐそばにせまって建っています。隣接している小学校には、基地の土地をグラウンドとして提供しています。試験の時などは訓練の時間をずらすなどの配慮をし、地域の人々が使用できる耕作スペースを設けてるそうです。普天間基地は移転が計画されていることから、新たな建築物は認められていないため不足な施設については仮設の建物になっています。移転後の跡地利用については活用方法を検討する場を考える会を住民と行政の協働で設けているが地層に石灰岩が多く含むため制約もあるそうです。



沖縄の人たちは戦争の歴史を先祖から受け継ぎながらも、現実には基地とともに日々を送りここを職場としている人もたくさんいます。ここに来る前に糸満市で「ひめゆり平和記念館」「旧海軍司令部の壕」に立ち寄りしましたが、沖縄の美しい自然、観光地としての人々の営み、戦争の悲惨な歴史を見たあと、基地周辺の現状を見て本当に複雑な思いを抱きました。

その他周辺の様子



(亀甲墓：きっこうばか)

沖縄のお墓は形が亀の甲羅に似ているところから「亀甲墓」と言われますが、実はこれは女性の子宮を模したもので、墓の入り口はちょうど産道に当たることになります。人は、母の胎内から生まれ、死ぬとまた帰ってゆく、という「母体回帰」の思想からくるものということで、全体の形を見ると、亀の甲羅というよりも子宮という感じがします。

住宅地では各家庭には「貯水タンク」が設置されています。沖縄では水不足への対策としてほとんどは屋上や屋根の上に設置されているようで、各家々の上にタンクが並んでいました。



貯水タンク内の水質管理は各自で行っている。



桜の花が咲いていましたが「寒桜」の一種で、「寒緋桜(かんひざくら)」といいます。沖縄では1月中旬から開花が始まり、1月下旬から2月上旬にかけての時期が見頃となります。本土とちがって桜前線は北から南へ移ります。桜はもともと沖縄には自生していないようで、台湾から持ち込まれたもののようです。ソメイヨシノは沖縄では育たないそうです。

考 察

猪名川町は、平成元年に核兵器廃絶を願い永久の平和社会を築くことを誓って、「核兵器廃絶平和の町宣言」を行い、平和を訴える啓発活動を実施していますが、今回 普天間基地を目にして自然の美しい風景の中に歴史の重みとその中で暮らす人々の思いを考えながら、「共に生きる」ことの大切さや「平和」についてさらに考える機会となりました。

シュチュワートS .ラリー氏は終始、周辺地域への配慮の思いを表現しながら説明されていました。海兵隊は我が国の平和を守るために在日し訓練をしながらイラク、パキスタン地震やフィリピンの地滑りの救済活動など各地で協力しています。しかし、騒音被害も含めてシュチュワート氏は「自分たちがここにいるのはよくないと思う」と語っていました。宜野湾市にとって財政や雇用などを考えると基地の存在は大きい。しかし、基地を出てからバスの運転手が「小学校は授業時間など他の小学校より差が出ているし、騒音や振動による妊婦の流産などが多いんですよ。」と話すの聞きやはり一口では語れないものがあると感じた。私たちはもっと「平和」に感謝し、身近な地方自治の「安全・安心」を高めるための自助・共助・公助に努めないといけないと思いました。

(3) 名護市（保育園の民間委託について）2月8日（火） 名護市役所にて
 面接者 議会事務局次長 幸地 春枝さん



名護市役所概観



シーサーがたくさん出迎えてくれました。



スロープを登って3Fへ



名護市議会入口（3F）

市庁舎建設の経緯について

市民の財産となる建物を創るなら、設計案は広く公募して求めるべきという意見が出され、その方法として「2段階・公開設計」によって市庁舎の設計を行う。その目的は、沖縄の地域特性を体現し、市のシンボルとして長く市民に愛される市庁舎を建設するための案を求めることだった。

全国より308案もの応募があり、Team Zoo（象設計集団+アトリエ・モビル）の設計案が入選と決定。設計の条件としては、敷地の立地条件、気象条件を生かすことはもちろん、省資源、省エネルギーを考慮し、大規模な空調方式に頼らないこと、地場材料・地元の施工技術を使いこなすこと、社会的弱者への配慮を行うこと、などが要求され、実施設計案が作成された。（HP引用）

敷地面積	12,201.1 m ²
延床面積	6,149.1 m ²
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造、3階建〔軒高 14.6 ㍎ 最高 21.6 ㍎〕
総工費	約 10.5 億円（外構含む）



8日は名護市長として島袋氏が初登庁の日でした。

名護市の概要や基地の受け入れに対する状況を幸地次長より、また保育所の運営については担当者より説明を受けました。

【名護市の概要説明】

名護市は昭和45年に1町4村が合併し市制を施き、名護15行政区、羽地地域15行政区、久志地域13行政区、屋部地域7行政区、屋我地地域5行政区55コミュニティーの単位よりなる人口5万8千人余の都市に成長し、昭和57年に「非核平和都市宣言」を宣言している町。

平成12年第3次行政改革大綱は行政運営の効率化として民間委託等の推進を図ることとし、その中でも行政改革の主要項目として「保育所運営の民営化」を打ち出した。

名護市の児童福祉費は歳出経費において大きな位置を占め県内都市と比較しても突出していて特に保育所費が大きい。財政構造の硬直化の度合いを深めていて、ソフト分野の新たな事業展開や既存事業の拡充・強化が限界の状況に立ち入っている。

市立保育所の社会福祉法人等に移管する事により生み出される財源（余力）を他の財源需要に振り向け、市民が行政に期待する分野に、行政の役割を集中化・重点化していくことが必要である。

このことで、延長保育、夜間保育、休日保育などの保育ニーズの多様化をはじめ、子育て支援ニーズに対処することが可能となる。

多様化する保育ニーズへの対処することが可能となる。

効率的効果的保育所の運営と保育サービスの維持・確保

私立保育所の運営支援

1. 市立保育所運営の効率性について

(1) 保育所運営の市立と私立の比較

運営経費、経験年数別職員給与及び職員数について市立と私立（社会福祉法人）の経営効果を比較。

運営経費（当時）

名護市の保育 市立8保育所（定員640） 私立12保育所（定員720）

市私1,360人の乳幼児を326人の保育所職員が担っている。

その運営費（通常保育事業費）：保育料・国庫負担金（1/2）・県負担金（1/4）及び市負担金（1/4）で構成しているが、市立の運営費は措置費（国庫負担対象額）だけでは賅いきれず、一般財源の持ち出しにより補てん。

平成 11 年度決算における保育所の運営費 1,703,263 千円（市立 857,043 千円・私立 846,220 千円）

○措置ベース

市立保育所	措置費	546,710 千円	
	運営費	857,043 千円	
	差 額	310,333 千円	「超過措置費」として税等一般財源の持出し。
私立保育所	運営費	846,220 千円	持出しはなく措置費によりすべて賅っている。

○保育運営費の超過負担額

保育料減免額（国基準保育料と市保育料の差額）100,027 千円を含めると 410,360 千円保育運営費で 市が負担すべき「市負担金 1/4」260,744 千円と比較して多額オーバー。

○公立保育所の運営費（措置費）平成 15 年度から交付税化により一般財源化されたためその運営費に係る一般財源からの負担額はさらに増大した。

民営化の方向性

1. 市立保育所と私立保育所の経営の効率性、運営経費格差
2. 社会福祉分野における財政（民生費）が児童福祉費・保育所費に偏在し規模が突出
3. 「児童福祉施設最低基準」の設定・遵守や児童福祉法で必要とされる保育サービスは市立保育所と私立保育所の間には差異はない。
4. 国による規制緩和が行われ、保育所経営への社会福祉法人など民間社会福祉団体等の参入が容易であり、行政が保育所事業に参入する意義は薄れている。
5. 女性の社会進出の増大や就労形態の変化から多様化した保育ニーズへの対応や 0 歳児など低年齢児を中心にした待機児童の解消が大きな課題。

保育ニーズの多様化への対応

「延長保育」「障害児保育」及び「夜間保育」等特別保育事業の充実を図る。

0 歳児などの待機児童解消の課題に対して

法人保育園への低年齢児増員及び保育士の増員、看護婦（士）の配置などの促進を図る。

私立保育所に対する支援

市独自の財政援助が私立保育所運営の安定性と健全性に大きな役割を果たしている

引き続き必要な側面的支援をおこなう

地域状況を勘案しながら平成 24 年度までに順次公立保育所（8 か所）を民営化していく。

民営化とあわせ、認可外保育園等から認可化をおこない入所児童定員の増を図り待機児童の解消。

現在の定員枠を超える児童の定員枠内での保育の実施。

民営化の方法

- (1) **民営移管** 施設が老朽化し建て替えが必要な市立保育所についてはその施設と用途を廃止。民設による保育園建設で「民営移管」し市直営から社会福祉法人等の運営に移管。
- (2) **公設民営** 公による新たな保育所を設置することではなく、老朽化している以外の既存保育所については、土地は有償による貸与とし、建物については無償の貸付として社会福祉法人に保育の実施と管理運営を移管する。
- (3) **保育士について** 正職員については、事務職及び給食センターや幼稚園への職種変更をおこない（事前に研修を実施）をおこない、臨時職員については受託先法人保育園への受入れなど協議していく。

【民営化までの経緯】

平成 12 年に市立保育所運営検討部会が設置され 11 回にわたり審議。

平成 13 年度は関係者等への民営化計画の説明会や議会関係、公立保育所職員、社会福祉法人保育園経営者、認可外保育園経営者への説明会などを行い。

平成 14 年には名護市立保育所民営化推進委員会を設置。（保護者に説明会を開催）

議会や上記の経過を経て、平成 17 年 4 月 1 日に市立やなぎ保育所を廃止、移管済。



名護市では保育所運営に指定管理者は向かないと判断しているが、保育ニーズに答えるには公の運営では限りがあり民間委託がよりサービスの向上につながると判断し推進している。「公でなくてはいけないものは公で、公でなくてもいいものは民で。」という考え。計画当初、保護者からの反対もあったようですが説明を行い、また保育サービスの低下はなかつてよくなっていることで理解は得られている。公立の保育所は保育士の高齢化も課題としているようです。

考 察

名護市の出生率は 1.9%と非常に高い。保育所の数に関係があるのだろうか。若い人は一度は町を出て行くが大体の人がまた戻ってくるという。それなりに働く場所があり保育も可能な町だからかもしれない。幼稚園は小学校に併設されていて 5 歳児が通っている。

孤立せず母親も社会や地域に出て人と接する機会を持つことは大切です。最近多発している虐待や殺傷事件は子育てをする親に適切なアドバイスやサポートのできる人がいれば防ぐ事ができます。少子化対策として考えるときどうしても単に手厚いサービスを提供することで対策となるように思われがちですが、若い親と子どもが保育の場で共に育つ環境作りが大切で、経済的・時間的な支援と精神的なサポートのできるシステムを充実させなくてはならないように思います。

子育ての義務を果たすためのサービスを提供するという考えを持ち進めるべきであると思います。